

を持ち、ウイルス
を持つこれら新顔
「DNAウイルス」と
のグループはバクテリ
真核生物のいずれにも
「第4のドメイン」の
かという。しかもそ
アやアキアの祖先
という。生物そのもの
問題である。議論にな
それだけ話の展開には

周囲の個体と相互
ヒトを含む霊長類も競
る。『ゲームをする
性淘汰を通じて
本性は、社会的な交
ともはっきりと示され、
ルを使って理解でき
ベーターの中での気ま
るまいにも、研究論文
の社会にも普遍的な血
他の動物の行動と共に

巨大ウイルスと第4のドメイン 生命進化論のパラダイムシフト

武村政春 著
新書判 224ページ
講談社ブルーバックス
860円(税別)



通点がある。男女あるいは男同士の絆
も同様だ。ややくどいのが気になるが、
主に社会的やりとりを背景に生じる感
情の裏側を探った本である。ヒトの本
性、そして社会を作り立たせている本
性について考えさせられる。

『人工知能は人間を超えるか』は最
近は新聞の経済面でも話題の機械学習、
特にディープラーニングに主眼をおいて、
現在の人工知能にできることと可
能性を平明に紹介した本だ。一般の報

ゲームをするサル

進化生物学からみた「えこひいき」の起源

ダリオ・マエストリビエリ 著
河合信和 訳
四六判 347ページ
雄山閣
2200円(税別)



人工知能は人間を超えるか
ディープラーニングの先にある

松尾豊 著
B6判 268ページ
角川書店 1400円(税別)



宇宙の物質はどのようにできたのか 素粒子から生命へ

日本物理学会 編
日本評論社 2400円(税別)

銀河や星、さらに生命を作っている
宇宙の物質の起源をさかのぼり、物
質を主役にして過去から現在までの
宇宙の姿をとらえる。ヒッグス粒子
の発見や反物質の謎、初期宇宙の再
現、ダークマターの探索といった最
新の話題と研究成果を多数盛り込みながら、各分野の専門家が全
10章で解説する。宇宙誕生から生命進化まで壮大な謎解きが楽し
める。



理系のための文章術入門 作文の初步から、レポート、論文、プレゼン資料の書き方まで

西出利一 著
化学同人 1800円(税別)

理工系の学生や科学・技術系の職についている社会人を対象に
した文章作成の指南書。普通の日本語文と論文やレポートなどの

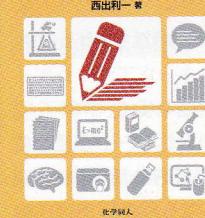
道では本当にすごいことと実は大したことないことが入り混じっている。
だが本書は歴史を踏まえて、何が大きな進歩なのかを解説している。機械学
習の精度を上げるには特微量設計が重
要だった。そして今の機械は特微量
を自分で獲得できるようになり始めて
いる。その手法の一つがディープラ
ーニングだ。機械学習の一つにすぎない
という見方もあるが、著者はこれはブ
レークスルーなのだと主張し、特微量

学習能力とモデル獲得能
も高い計算機は実現可能
る。人間の知能もプログラ
ミングができるはずだ、と。可能性を
者語り口が心地よい。

邦題では無人機一般に
た本のように見える『無
人機の誕生』は、「プレ
ンディング」いう一機種の開発と実戦配
のみ絞って綿密に描かれた
無人機構想は第一次大戦時

理系のための 文章術入門

作文の初步から、レポート、論文、
プレゼン資料の書き方まで
西出利一 著



理系文の違いを明確にし、ストーリー
があつて論理的で過不足のない文章を
書く方法を学んでいく。著者は“理系
文”的特徴を理系文法として体系化し、
この特徴をとらえた典型的な表現法
(文型)を示す。これらを身につけながら、
基本的な文章術の習得を目指す。
例文が多く、良い例と悪い例が同時に
示されているので、文章の自己チェック
にも活用したい。

カラー版 カラーブック キマの植物の世界

塚谷裕一 著
中公新書 1000円(税別)

敷石のつなぎ目やブロック塀の穴
から、ひょっこりと顔をのぞかせて
いる草や花。なぜこんな狭い場所にわ
ざわざ? 実は彼らにとって“キマ”
は理想のすみかで、競争を避けて自ら
選んだ新天地だという。意外なことに

